

県営発電施設あり方検討業務仕様書

1 業務名

県営発電施設あり方検討業務（以下「本業務」という。）

2 業務の目的

鳥取県企業局が運営する以下の県営発電施設（水力・風力・太陽光。以下「県営発電施設」という。）について、財務シミュレーションを行うとともに、民間譲渡等将来的な経営手法に関して次年度以降の検討に資するよう整理を行う。

- ・小鹿第一発電所（最大出力3,600kW） ※コンセッション方式の継続を前提とする。
- ・小鹿第二発電所（最大出力5,200kW） ※コンセッション方式の継続を前提とする。
- ・春米発電所（最大出力7,900kW） ※コンセッション方式の継続を前提とする。
- ・日野川第一発電所（最大出力4,300kW） ※コンセッション方式の継続を前提とする。
- ・佐治発電所（最大出力5,000kW）
- ・新幡郷発電所（最大出力9,200kW）
- ・加地発電所（最大出力1,100kW）
- ・袋川発電所（最大出力1,100kW）
- ・鳥取放牧場風力発電所（最大出力3,000kW）
- ・企業局西部事務所太陽光発電所（最大出力200kW）
- ・賀祥発電所（最大出力260kW）
- ・FAZ倉庫太陽光発電所（最大出力500kW）
- ・企業局東部事務所太陽光発電所（最大出力120kW）
- ・鳥取放牧場太陽光発電所（最大出力100kW）
- ・鳥取空港太陽光発電所（最大出力1,990kW）
- ・竹内西緑地太陽光発電所（最大出力1,250kW）
- ・天神浄化センター太陽光発電所（最大出力1,500kW）
- ・境港中野太陽光発電所（最大出力1,000kW）
- ・若松川発電所（最大出力150kW）
- ・横瀬川発電所（最大出力198kW）
- ・私都川発電所（最大出力152kW）

3 業務の内容

(1) 財務シミュレーションの実施

現在の経営を継続した場合と、売却による事業規模の縮小の場合の財務シミュレーション（期間は20年間）を発電所毎に実施する。シミュレーションの実施にあたっては、過去に実施したPFI手法検討調査報告書の内容を基礎として実施する。

(2) 経営手法等に関する分析・助言

直営、コンセッション、包括外部委託、民間譲渡等将来的な経営手法に関して、次年度以降の検討に資するよう過去に実施したPFI手法検討調査報告書の内容を基に整理する。また、検討にあたり、将来的に事業環境に変化を及ぼす可能性のある要因について適宜助言を行う。

4 委託期間

契約締結日から令和5年3月31日まで

5 成果品

成果品は以下のとおりとする。

財務シミュレーション結果報告書（A4版） 2部…提出期限：令和5年1月31日

上記成果品については、電子データも電子媒体（CD-R又はDVD-R 2枚）に格納の上、提出すること。なお、上記成果品提出後も業務期間中は経営手法等に関する分析・助言業務は継続すること。

6. 納入場所

鳥取県総務部デジタル・行財政改革局行財政改革推進課（鳥取県鳥取市東町1丁目220番地）

7. その他

- (1) 本業務の実施にあたっては、委託者と十分に連携を図ること。
- (2) 仕様書に定めのない事項又は疑義が生じた場合は、その都度、委託者と協議して決定するものとする。
- (3) 完了報告及び検査
受託者は、本業務を完了したときは、令和5年3月31日までに完了報告書を委託者に提出し、委託者の検査を受けるものとする。